

事務事業名		水産活性化委員会運営事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	03 漁業経営の安定化			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成11 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						
所属	部課名	農林水産部 水産課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 03 02 10	
	係名	振興係	電話	27-3111		
			内線	374		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 水産活性化委員会は、本市の水産業の振興を図るため、官民により組織された団体で、大船渡市水産業振興計画に掲げる「基本構想」と「水産振興施策の基本方向」に沿った各種事業を推進し、検証を行うことを目的としている。事務局は水産課に置かれている。 主な業務は、委員の選任(2年毎)、委員会の運営(年間2回開催)、委員会の下部組織としての幹事会幹事の選任(2年毎)、幹事会の運営(随時)、水産活性化委員会が実施主体となって実施する水産振興大会の企画立案と開催に係る実務である。 事業費は、委員会への市の負担金として支出される。					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア	水産活性化委員会開催数 回
東日本大震災の影響から、水産振興大会は中止とし、幹事会や委員会等の開催もできなかった。		イ	水産活性化委員会幹事会開催数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	専門部会開催数 回
水産活性化委員会の開催		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
水産活性化委員会幹事会・専門部会の開催		名称 単位	
大船渡市水産振興大会開催		カ	水産活性化委員会委員数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		キ	水産業振興計画掲載事業数 事業
(直接の対象)水産活性化委員会の委員		ク	
(間接の対象)大船渡市水産業振興計画に掲示されている施策や事業、課題		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称 単位	
大船渡市水産業振興計画に添った事業を実施するとともに、水産業における課題の解決に向けた取り組みについて検討する。		サ	実施事業数 事業
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	検討実施事業数 事業
市の水産業の活性化を図る。		ス	
安定して漁業を営む。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	人件費	一般財源	千円	0	500	500	500	500	500
		事業費計(A)	千円	0	500	500	500	500	500
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	0	600	600	600	600	600
		人件費計(B)	千円	0	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	
⑤活動指標	ア	回	0	3	1	1	1	3	
	イ	回	0	1	0	2	2	2	
	ウ	回	0	2	4	0	12	12	
⑥対象指標	カ	人	20	20	20	20	20	20	
	キ	事業	58	58	58	58	58	58	
	ク								
⑦成果指標	サ	事業	0	1	1	1	1	1	
	シ	事業	0	2	2	2	2	2	
	ス								

事務事業ID	0607	事務事業名	水産活性化委員会運営事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	次期大船渡市水産業振興計画策定までの間、時代の諸情勢に対応した緊急かつ効果的な水産業の活性化のための事業計画が必要となったことから、その計画策定と推進を行う官民一体となった会の発足が必要となった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成13年度に水産業を基幹産業とする三陸町と合併し、大船渡市の産業構造における水産業の占める割合が大きくなった。 抱える課題に変化はないが、生産量は横ばいとなっている。 大船渡市水産業活性化事業計画は、平成11年度から平成15年度までを展望したものであり、平成16年度を初年度とし、平成22年度までを展望した大船渡市水産業振興計画が策定されている。このことから、設置当初水産業活性化事業計画の推進を行うためのものであった本会は、平成16年度から、新水産業振興計画に掲げられた各種施策に基づき実施される事業を推進し、検証するための会となっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	水産活性化委員会の委員の中にも、大船渡市水産振興大会の開催を隔年とし、より大規模な開催としたらどうかとの意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 大船渡市水産業振興計画に添った事業の実施と検証、課題解決に向けた取り組みについての検討を行う組織の運営事業であり、水産業の活性化、漁業の安定経営に結びつく。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 水産業の振興に向けた各種事業を行っていく上で、行政の参画は不可欠である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 本委員会には、市内の主な水産関係団体が参画しており、また、対応していく課題についてもその時々々の情勢に合わせて対応していることから、対象・意図とも適切である。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 大船渡市水産業振興計画に添った事業を本会が実施することで成果の向上が期待できるが、事業内容によっては予算確保が必要となる。水産業振興のためのソフト事業は、その効果が一朝一夕に現れるものではないことから、現経済状況下においては、市負担金の増額や構成団体への負担を求めることへの理解が得にくい。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 大船渡市水産業振興計画に掲載されている事業を実施したり、課題解決に向けた取り組みについての検討を行う組織として、行政、漁業関係者及び水産加工関係者が連携し、横断的な取り組みを実施している組織は外にない。水産業振興のための各種事業を効果的に進めていくためには、本組織の活動が不可欠である。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 同じ対象と意図を以って組織された団体はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 市以外の構成団体や関連団体に負担を求めることにより可能である。 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 水産業は、漁業と水産加工業に区分されるが、それぞれの利害が必ずしも一致するものではないことから、組織を有機的に機能させるためには行政による調整が必要である。アウトソーシングするにあたり、その受け皿がない。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 現在、本事業費のすべてを大船渡市からの負担金で賄っていることから、実施する事業の性質によっては構成団体に負担を求めることも適当なものと考えられる。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>・平成23年度は東日本大震災の影響から、水産振興大会は中止とし、幹事会や委員会等の開催もできなかった。 ・水産振興計画に掲載されている事業を実施するにあたり、その内容によっては市以外の団体にも負担してもらいながら実施することが必要であるが、水産振興を進めていく上での課題は一朝一夕に解決するものではないことから、即効性のある対策も立てにくく、関係団体に費用負担を求めにくい状況となっている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>水産活性化委員会の存在は、大船渡市水産振興計画に沿った事業の実施と検証、課題解決に向けた取り組みについての検討を行う組織として必要なものであり、実施する事業の内容によって、構成団体や関係団体からの負担を求める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>漁業団体、水産加工業団体とも財務事情は厳しいものがあり、課題解決に向けて即効性のある事業に対する負担であれば別だが、事業実施の効果が数値で表しにくいものについては、多額の負担を求めることに対して理解を得にくい。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>漁業団体、水産加工業団体とも財務事情は厳しいものがある。課題解決に向けて即効性のある事業に対する負担であれば別だが、事業実施の効果が数値で表しにくいものについては、多額の負担を求めることに対して理解を得にくいことは事実である。 しかし、今まで以上に水産振興を図っていくためには、委員会、幹事会及び専門部会を精力的に開催し、検討を深めていくべきものと判断する。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>漁業団体、水産加工業団体とも財務事情は厳しいものがある。課題解決に向けて即効性のある事業に対する負担であれば別だが、事業実施の効果が数値で表しにくいものについては、多額の負担を求めることに対して理解を得にくいのが現実である。 改善に向け委員会と協議する必要があると考えるが、当面現状維持とする。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項